

建築探偵 桜井京介の事件簿

胡蝶の鏡

篠田真由美

m a y u m i s h i n o d a

講談社文庫





講談社文庫

常州大学図書館

胡蝶の鏡 章
建築探偵桜井京介の事件簿

篠田真由美

講談社

〔著者〕篠田真由美 1953年東京都生まれ。早稲田大学第二文学部卒、専攻は東洋文化。1991年に『琥珀の城の殺人』が第2回鮎川哲也賞の最終候補作となり、中井英夫氏らの注目を集め、作家デビュー。1994年に建築探偵桜井京介シリーズ第一作『未明の家』を発表。以来、番外編も含め25冊刊行されている。他に『この貧しき地上に』全3作、『レディMの物語』（以上、すべて講談社）、『龍の黙示録』シリーズ（祥伝社）、『すべてのものをひとつの夜が待つ』『美しきもの見し人は』（ともに光文社）、『螺鈿の小箱』（東京創元社）、『幻想建築術』（PHP研究所）、『黄昏に佇む君は』（原書房）など。

こ ち ょ う か が み けんちくたんていさくら いきょうすけ し けん ば
胡蝶の鏡 建築探偵桜井京介の事件簿

しのだまゆみ
篠田真由美

© Mayumi Shinoda 2012



講談社文庫

定価はカバーに
表示してあります

2012年8月10日第1刷発行

発行者——鈴木 哲

発行所——株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3510

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

Printed in Japan

デザイン——菊地信義

本文データ制作——講談社デジタル製作部

印刷——株式会社精興社

製本——株式会社若林製本工場

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料は小社負担にてお取替えします。なお、この本の内容についてのお問い合わせは文庫出版部あてにお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

ISBN978-4-06-277340-9

胡蝶の鏡

建築探偵桜井京介の事件簿

—— 目次

独白——桜井京介の——10

le souvenir de papillon ある回想——17

建築探偵挙動不審——45

緑蔭の愁い——87

昇龍タンロンと呼ばれた都——141

烙印——190

セピア色の肖像——227

去年こぞの雪いずこ——283

なにを賭けたゲーム——322

八角回廊の眩惑——363

朱雀の墓——404

独白——栗山深春の——447

ノベルス版あとがき——461

文庫版あとがき——465

解説 村松 伸——470

登場人物表（年齢等は二〇〇一年十二月現在）

レ・ヴァン・タン	(30)	ハノイ歴史博物館学芸員
四条彰子	(24)	タンの妻 日本人（「塔の中の姫君」『桜闇』所載に登場）
レ・ヴァン・トウ	(4)	ふたりの息子 日本名直 すなお
レ・ヴァン・ティン	(97)	レ家の長老
レ・ティ・ロアン（故人）		ティンの姉
レ・ホン・ロン	(29)	タンの弟 ティンの孫 医師
レ・グオック・マイン	(51)	ティンの孫 政府高官
ファン・ティ・ムウイ	(36)	マインの妻 実業家
レ・ティ・トウハー		マインの長女 大学生
レ・バオ・チャム		マインの次女 高校生
グエン・ティ・ナム		ティンに付き添う女医
河村千夏		女子大生
桜井京介		現在はほぼ無職
栗山深春		現在はアルバイト
蒼		現在は大学休学中



講談社文庫

胡蝶の鏡

建築探偵桜井京介の事件簿

篠田真由美

講談社

胡蝶の鏡

建築探偵桜井京介の事件簿

—— 目次

独白——桜井京介の——10

le souvenir de papillon ある回想——17

建築探偵挙動不審——45

緑蔭の愁い——87

昇龍タンロンと呼ばれた都——141

烙印——190

セピア色の肖像——227

去年こぞの雪いずこ——283

なにを賭けたゲーム——322

八角回廊の眩惑——363

朱雀の墓——404

独白——栗山深春の——447

ノベルス版あとがき——461

文庫版あとがき——465

解説 村松 伸——470

登場人物表（年齢等は二〇〇一年十二月現在）

レ・ヴァン・タン	(30)	ハノイ歴史博物館学芸員
四条彰子	(24)	タンの妻 日本人（「塔の中の姫君」『桜闇』所載に登場）
レ・ヴァン・トウ	(4)	ふたりの息子 日本名直 すなお
レ・ヴァン・ティン	(97)	レ家の長老
レ・ティ・ロアン（故人）		ティンの姉
レ・ホン・ロン	(29)	タンの弟 ティンの孫 医師
レ・グオック・マイン	(51)	ティンの孫 政府高官
ファン・ティ・ムウイ	(36)	マインの妻 実業家
レ・ティ・トウハー		マインの長女 大学生
レ・バオ・チャム		マインの次女 高校生
グエン・ティ・ナム		ティンに付き添う女医
河村千夏		女子大生
桜井京介		現在はほぼ無職
栗山深春		現在はアルバイト
蒼		現在は大学休学中



国立歴史博物館（ハノイ）

昔者莊周夢為胡蝶。栩栩然胡蝶也。

自喻適志与。不知周也。俄然覺、則蘧蘧然周也。

不知、周之夢為胡蝶与、胡蝶之夢為周与。

周与胡蝶、則必有分矣。此之謂物化。

（昔者莊周夢に胡蝶と為る。栩栩然くくぜんとして胡蝶なり。

自ら喻しみて志に適えるかな。周たるを知らざるなり。

俄然として覺むれば、則ち蘧きよきよ々然ぜんとして周なり。

知らず、周の夢に胡蝶と為れるか、胡蝶の夢に周と為れるかを。

周と胡蝶とは、則ち必ず分有らん。此を之れ物化と謂う。）

独白——桜井京介の

パソコンの電源を入れ、ワープロソフトを立ち上げて書きかけのファイルを開く。
桜井京介さくらい きょうすけが一九九六年にW大大学院を卒業して以来テーマとしてきた『和洋折衷建築論』のための主要論文は、すでに仕上げの段階に入っている。タイトルは『伊東忠太の建築進化論 近代日本の和洋折衷建築の流れの中での位置づけ』だ。明治の建築家の系譜において、イギリス人ジョサイア・コンドルの講義を受けた辰野金吾たつの きんご、曾禰達蔵そね たつざうらを第一世代とするなら、伊東忠太は教授となつた辰野の教え子、つまり第二世代に当たる。未だ建築界の大勢が欧化主義に向かつていた時代に、いち早く日本建築史研究の必要性に着目し、『法隆寺建築論』をもつて博士論文とした伊東の中でも、京介が着目したのは彼の『建築進化論』だった。